

平成17年度

病害虫発生予察特殊報(第3号)

平成17年9月30日
神奈川県病害虫防除所長

病害虫名：ニチニチソウ黄化えそ病
病原ウイルス：*Tomato Spotted Wilt Virus* (TSWV)

作物名：ニチニチソウ

1 発生経過

- (1) 平成17年に県内で栽培されているニチニチソウにおいて、つぼみ先端のえそおよび枯死する症状が見られる株が発生した。
- (2) 同年8月に病害虫防除所職員が現地を調査したところ、ガラスハウス内に栽培されていたニチニチソウ(約200㎡)のうち約10%の株に、つぼみ先端にえそが発生し、その一部に葉のえそ斑や茎のえそ斑を確認した。なお、この施設では7月からつぼみ先端のえそ症状が出始め、8月上旬には枯死株が発生していた。
- (3) 農業技術センターでRT-PCR検定をしたところ、*Tomato Spotted Wilt Virus* (TSWV)が検出された。
- (4) 本ウイルスによるニチニチソウの病害は、本県で初めての確認である。

2 病徴および病原の性質と伝搬

- (1) 本県で確認された主な症状は、つぼみや生長点のえそ斑およびこれらが進行した枯れ込み、葉に点状を含むえそ斑、茎のえそ斑、株の枯死である。
- (2) 本ウイルスはトスポウイルス属に属し、寄主範囲が広く、野菜・花き類を中心に約650種の植物で被害が報告されている。
- (3) 本ウイルスはミカンキイロアザミウマなどのアザミウマ類が媒介し、種子伝染、土壌伝染はしないとされている。

3 防除対策

- (1) 媒介虫であるアザミウマ類の防除を徹底する。
- (2) 寒冷紗などを設置して、アザミウマ類の侵入を防ぐ。
- (3) 周辺の作物や雑草なども伝染源となる可能性があるため、当該作物以外でもアザミウマ類の防除や雑草防除などの環境整備につとめる。

ニチニチソウ（花き類）のアザミウマ類に適用のある薬剤

害虫名	薬剤名	使用基準	希釈倍率
アザミウマ類	オルトラン水和剤	発生初期、5回	1,000~1,500倍
ミカンキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	発生初期、6回	1,000倍
	アフーム乳剤	発生初期、5回	2,000倍



つぼみ先端部のえそ斑



つぼみと生長点での枯れ込み



葉のえそ斑



茎のえそ斑

神奈川県病害虫防除所
 〒259-1204 平塚市上吉沢1617
 TEL 0463-58-0333
 FAX 0463-59-7411
 テレフォンサービス 0463-58-6612
<http://www.agri.pref.kanagawa.jp/boujoshou/top.asp>